



# 7月の星空を見よう

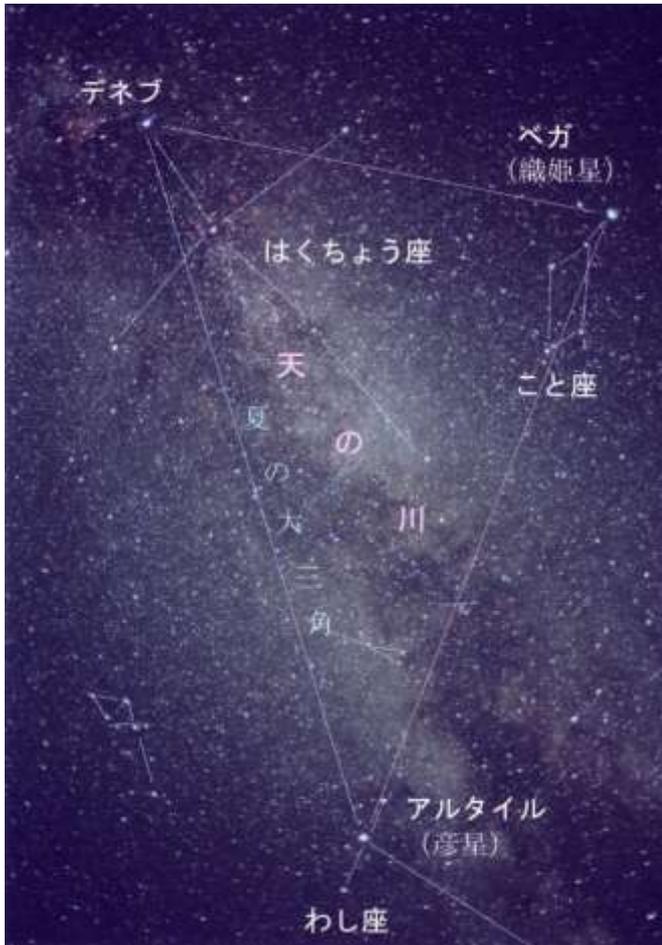


## ☆夏の星座をさがそう

晴れ間が見られると、夏の星座が見られる季節となつてまいりました。

夏の<sup>だいさんかく</sup>大三角を<sup>さいしょ</sup>最初にみつけましょう。

夏の<sup>だいさんかく</sup>大三角とは、<sup>こと</sup>こと座の<sup>べが</sup>ベガ（<sup>おりひめぼし</sup>織姫星）、<sup>わし</sup>わし座の<sup>アルタイル</sup>アルタイル（<sup>ひこぼし</sup>彦星）及びはくちょう座の<sup>デネブ</sup>デネブの3つの<sup>いっとうせい</sup>一等星でできる三角形のことをいいます。夏の<sup>だいさんかく</sup>大三角をみつけたら、その星の<sup>いち</sup>位置から3つの<sup>星座</sup>星座の<sup>かたち</sup>形を<sup>星空</sup>星空の中にさがしましょう。

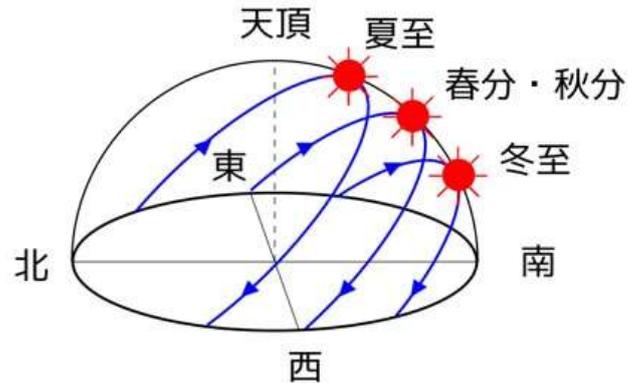


写真説明図：夏の<sup>だいさんかく</sup>大三角

星座をさがすには、<sup>せいざはやみ</sup>星座早見を<sup>つか</sup>使います。ひとつわかったら次の星座をさがし、次々とみつけていけるようにしましょう。

## ☆夏は日が長く夜空は短い！

6月21日に<sup>げし</sup>夏至をむかえましたが、7月は昼間の時間が長く、反対に夜の時間は<sup>みじか</sup>短くなります。



図：季節によって違う太陽の高度（昼間の太陽の通り道をあらわした図です。太陽の高度が夏場は高いことがわかると同時に太陽が見えている時間帯が夏の方が長いこともわかります。）

夏至の時と<sup>とうじ</sup>冬至の時では5時間ほど昼夜の時間に差があります。

夏場は星を楽しむ時間は短く、夕方では午後7時頃に日の入りとなり、それ以降の午後8時過ぎてからしか星や星座さがしができません。一方、冬になれば日の入りが早いため、午後6時頃には星空を楽しむことができるようになります。

春及び秋の季節は、中間的な位置づけとなり、特に<sup>しゅんぶん</sup>春分の日、<sup>しゅうぶん</sup>秋分の日頃は、昼と夜の長さがほぼ同じくらいになります。

四季をつうじて昼夜の長さを<sup>いしき</sup>意識して、地球や天体のことを考える機会にするといいですね。



ギャラクシティ GALAXCITY



まるちたいけんドーム（プラネタリウム）

〒123-0842 東京都足立区栗原一丁目3番1号

電話03-5242-8161 URL <https://www.galaxcity.jp/>